

令和

6

年度

事業者番号

0317

事業所番号

031700

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代 表 事 業 所 名	越谷市役所		前年度における事業所数	469
代 表 事 業 所 所 在 地	市 区 町 村	越谷市		
	字 ・ 地 番	越ヶ谷四丁目2番1号		
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)				
産 業 分 類 名 (中 分 類)		98 地方公務		
分 類 番 号 (中 分 類)		98		
事 業 活 動 の 概 要		事業内容：地方行政事務		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計 画 期 間		2	年 度	～	6	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO2	基準となる 原 単 位	0.0527 t-CO2/m ²
		令和元年度のエネルギー起源CO2排出量原単位0.0527t-co2/m ² を基準として令和6年度まで5%削減する。				
その他ガス						

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年 度	～	11	年 度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO2	基準となる 原 単 位	
その他ガス						

事業所リスト

番号	事業所名	所 在 地
1	越谷市役所	越谷市越ヶ谷四丁目2番1号
2	男女共同参画支援センター	越谷市大沢3-6-1-301
3	斎場	越谷市増林3989-1
4	中央市民会館	越谷市越ヶ谷4-1-1
5	北部市民会館	越谷市恩間181-1
6	赤山交流館	越谷市赤山町3-128-1
7	大沢北交流館	越谷市大里326-1
8	蒲生交流館	越谷市蒲生寿町4-9
9	南部交流館	越谷市南町1-22-13
10	大袋北交流館	越谷市袋山565-4
11	桜井交流館	越谷市大泊730-2
12	南越谷交流館	越谷市南越谷5-15-4
13	東小林記念会館	越谷市東越谷3-10-7
14	千間台記念会館	越谷市千間台西1-9-9
15	桜井地区センター	越谷市下間久里792-1
16	新方地区センター	越谷市大吉470-1
17	増林地区センター	越谷市増林3-4-1
18	大袋地区センター	越谷市大竹160-2
19	荻島地区センター	越谷市南荻島190-1
20	出羽地区センター	越谷市七左町4-248-1
21	蒲生地区センター	越谷市登戸町33-16
22	川柳地区センター	越谷市川柳町2-485
23	大相模地区センター	越谷市相模町3-42-1
24	大沢地区センター	越谷市大沢2-10-40
25	南越谷地区センター	越谷市南越谷4-21-1

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
	4,045	4,394	4,229	4,352	

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算（t-CO₂）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂	基 準					
		7,929	8,587	8,253	8,497	
	前 年 度 比 （ % ）	—	8.3	-3.9	3.0	
そ の 他 ガ ス	基 準 となる 排出量 に対する 削 減 率 （ % ）					
	非 エ ネ ル ギ ー 起 源 CO ₂					
	メ タ ン					
	一 酸 化 二 室 素					
	ハ イ ド ロ フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	パ ー フ ル オ ロ カ ー ボ ン					
	六 ふ っ 化 い お う					
	三 ふ っ 化 室 素					
温 室 効 果 ガ ス の 合 計		7,929	8,587	8,253	8,497	

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算（t-CO₂/指標）

		計 画 期 間				
		令和 2 年度 (2020年度)	令和 3 年度 (2021年度)	令和 4 年度 (2022年度)	令和 5 年度 (2023年度)	令和 6 年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基 準					
		0.0459	0.0497	0.0477	0.0492	
	前 年 度 比 （ % ）	—	8.3	-3.9	3.0	
	基 準 となる 原単位 に対する 削減率 （ % ）	13.0	5.7	9.4	6.7	
	活 動 規 模 の 指 標 単 位					
延べ床面積		m ²	172,839.81	172,839.81	172,839.81	

（４）エネルギー起源ＣＯ₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和２年度 (2020年度)	新型コロナウイルス感染症による施設の運営期間短縮に伴う、電灯や空調設備等の使用量減少。
令和３年度 (2021年度)	新本庁舎の建設に伴い、電灯や空調設備等の使用量が増加した。 令和２年度と比較し、各施設の運営日数が増加した。
令和４年度 (2022年度)	新本庁舎の安定した運用開始に伴う夏季の節電対策の効果が見られ、本庁舎内の使用電力が削減した。
令和５年度 (2023年度)	夏季及び冬季の冷暖房機器の使用頻度の増加による電力使用量の増加が見られた。 令和５年度は学校教育施設を中心に再生可能エネルギー由来の電力への切り替えを行っており、令和６年度以降も引き続き推進することで改善を図る。
令和６年度 (2024年度)	

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	蛍光灯の間引き、不要時間帯消灯、省エ ネ型蛍光灯への交換、LED蛍光灯の導入 ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	78.0
2	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネル ギー	屋上緑化、建物の断熱対策		R1以前	19.0
3	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	太陽光発電の導入 ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	44.0
4	130100	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和の運転 管理	室内温度を夏季28度、冬季20度に設定 ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
5	130200	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和設備の 効率管理	外気取り入れの推進 ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
6	150300	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の 管理	退庁時におけるOA機器の主電源OFFの 徹底(待機電力削減)＜第3計画期間も継続 ＞		R1以前	
7	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管 理	上下3階程度のエレベーター利用を控える ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
8	160200	昇降機、建物	16_建物の省エネル ギー	グリーンカーテンの設置		R1以前	
9	130200	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和設備の 効率管理	ブラインド・カーテン等により日射を遮断 し、空調の効率を高める ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
10	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	昼休みは、業務室の照明を全て消灯する (窓口業務等は接客部分を点灯) ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
11	150300	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_事務用機器等の 管理	長時間(概ね2時間以上)離席するときは、 パソコンなどのOA機器の主電源を切る ＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
12	130200	空気調和設 備・換気設備	13_空気調和設備の 効率管理	5月1日から10月31日までを「クールビズ期 間」とし、軽装(ポロシャツ推奨)勤務を 励行する＜第3計画期間も継続＞		R1以前	
13	170300	負荷平準化	17_新エネルギー	一部施設の電力を実質再エネ電力へ切り 替える	R4	R4	
14	150200	受変電設備、 照明設備、 電気設備	15_照明設備の運用 管理	高効率・LED型器具への交換	R6	R6	
15							

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

（※希望者のみ記載）

自由記述欄

令和4年度より各施設において、実質再エネ電力への切り替えを推進。
令和7年度以降に電気自動車の導入促進。